

株式会社ソフトフロント 会社説明会

2011年7月20日

この資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「期待」、「計画」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示されるほかの媒体にも含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の判断にもとづいています。実際の業績は、様々なリスクや不確実な見通しのみに全面的に依拠することはお控えいただけますようお願いいたします。



本日の内容

- **1. 会社概要**
- **2. 事業内容**
- **3. 中期経営方針**
- **4. 事業分野**
- **5. 業績概要**

1. 会社概要

企業概要

- **社名** 株式会社ソフトフロント
- **上場市場** 大阪証券取引所「JASDAQ」
- **証券コード** 2321
- **設立** 1997年4月18日 札幌にて
- **東京本社** 東京都港区赤坂4丁目2-19 赤坂SHASTA・EAST 3F
- **札幌本社** 札幌市中央区北9条西15丁目 札幌ITフロントビル 3F
- **従業員数** 62人（2011年3月末）
- **資本金** 27億92百万円（2011年3月末）
- **決算月** 3月
- **URL** www.softfront.co.jp



役員等

- 代表取締役社長 阪口 克彦
- 取締役／研究開発担当 佐藤 和紀
- 取締役／財務・管理統括担当 佐藤 健太郎
- 取締役 安田 浩 （東京電機大学教授・東京大学名誉教授）
- 監査役 塙 幸久
- 高木 勇三 （監査法人五大 代表社員）
- 坂上 辰雄

- 相談役 酒巻 久 （キャノン電子株式会社 代表取締役社長）
- 最高技術顧問 村田 利文 （創業者）

- 監査法人 有限責任監査法人トーマツ
- 主幹事会社 野村證券

ソフトフロント・ヒストリー（ベンチャー期）

➤ 1997年 ソフトフロント設立

「ソフトウェアのフロンティア（開拓者）」
「フロント（最前線）で戦う集団」



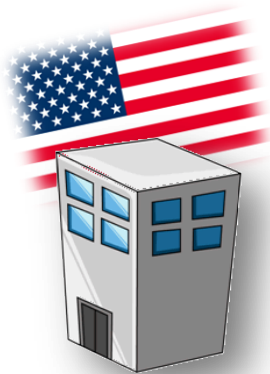
➤ 2002年 ナスダック・ジャパン （前ヘラクレス、現JASDAQ） @大阪証券取引所に上場



ソフトフロント・ヒストリー（混迷期）

➤ 2002年

- 米国での活動休止
- 事業の選択と集中

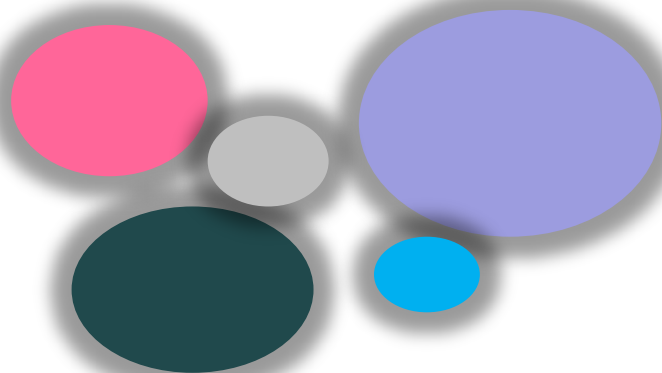


STOP



➤ 2003年

- SIPとVoIPに特化





ソフトフロント・ヒストリー（新生期）

➤ 2004～2005年

- 二本社制
- 資本増強
- ライセンスビジネスへ
- ブランドイメージの創生



SOFTFRONT

www.softfront.co.jp

➤ 2009年

- NGNの普及に向けてNTTグループと
業務・資本提携



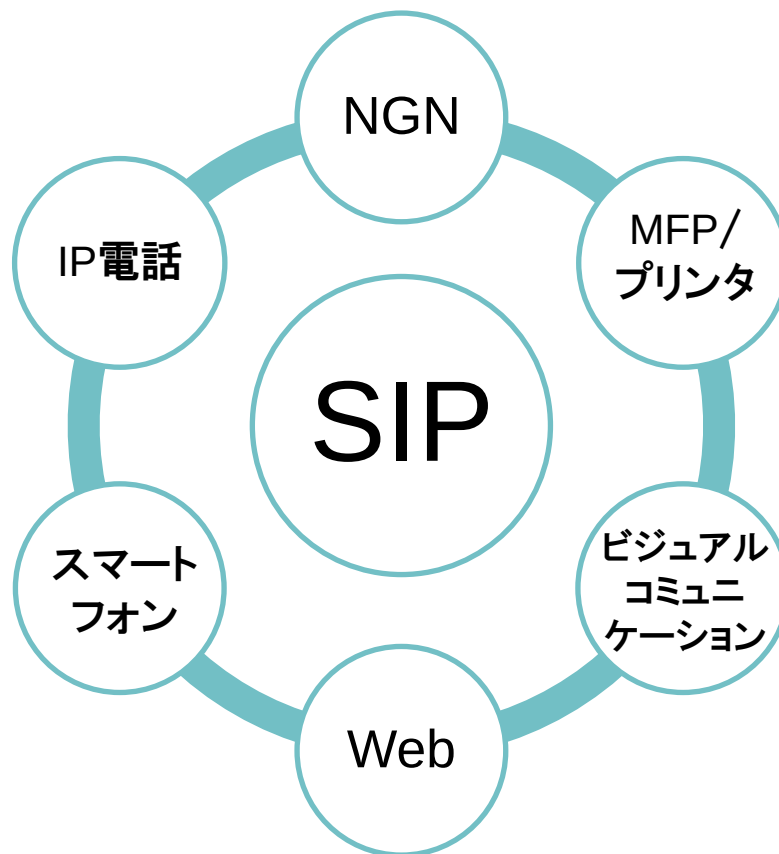
➤ 2010年

- 新中期経営方針に基づく事業推進



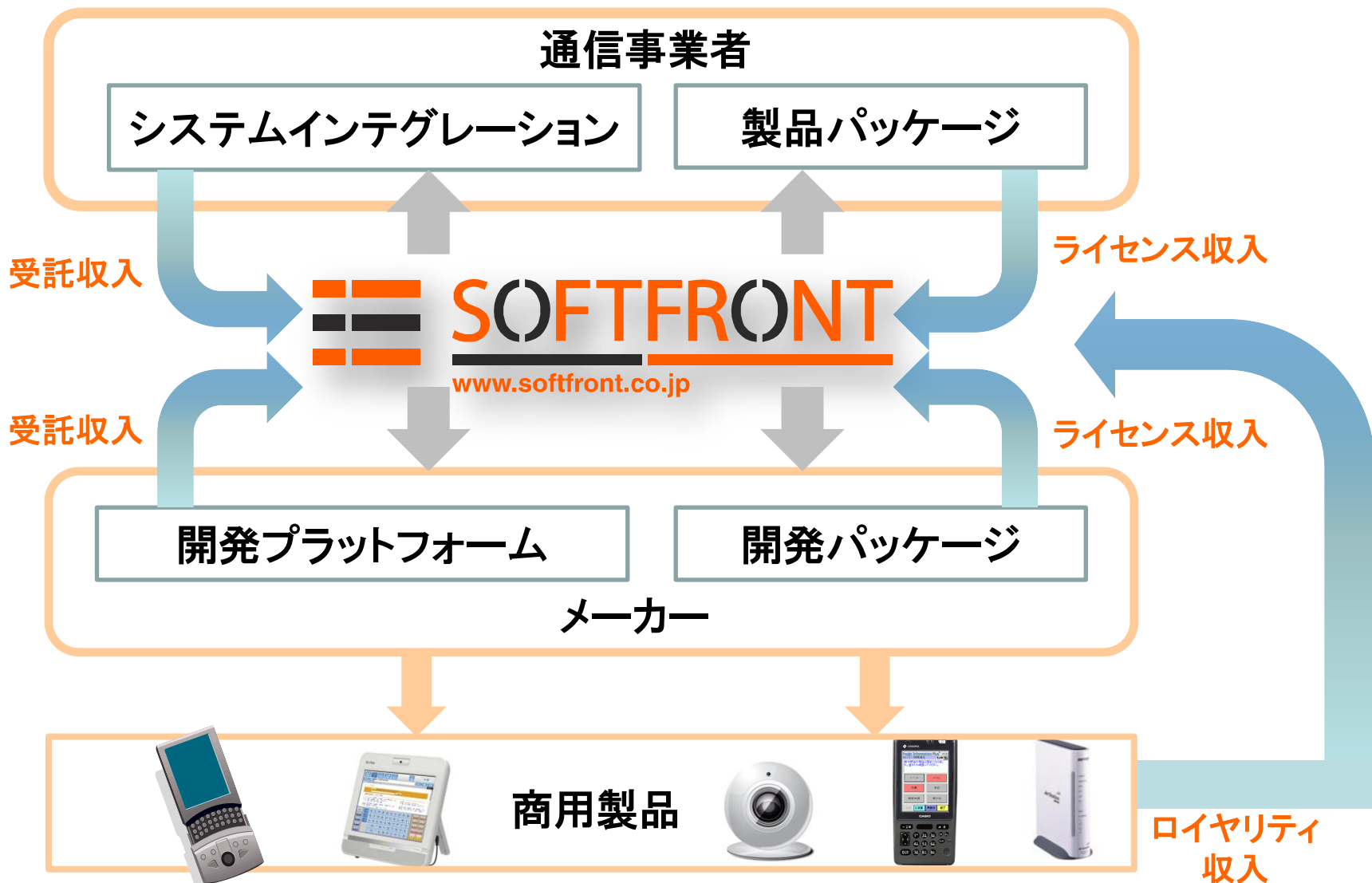
事業概要

**SIP、VoIP技術を核としたソフト開発環境の提供
および 技術支援、関連する受託開発・コンサルティング**

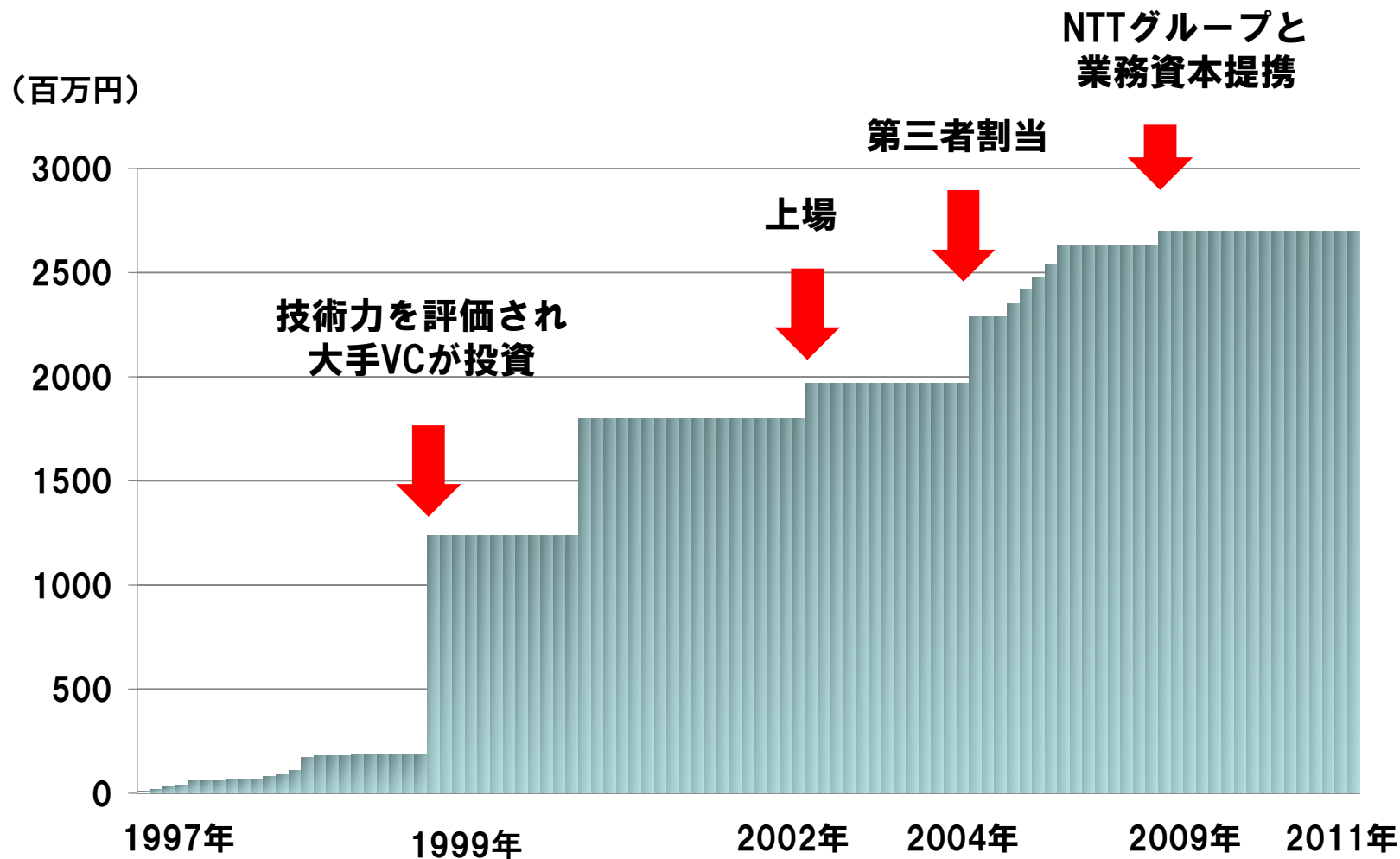




ビジネスフロー



資本金の推移



企業理念 と Softfront Spirit

技術を愛し、技術を提供することによって、
社会変革の牽引役となり、豊かな社会を実現すること

S

Social Commitment

ソフトフロント人として、グローバルな視野で
人々の豊かな社会の実現を目指します

- ・人々の豊かな暮らしを考え、技術開発・研究に取り組む
- ・健全で適切な利益を生み出し、社会に還元する
- ・お客様そして社会と強い絆を構築し、ともに成長する

I

Innovation

ソフトフロント人は、常に変革・挑戦で
新しさを創造し続け、人々に驚きと感動を発信します

- ・目標を掲げ、自ら考え積極的に行動する
- ・環境や時代の変化とともに常に変革し挑戦する
- ・適切で大局的な視野を持ち、独創性を追求する

SOFTFRONT SPIRIT

SIP Connects the future

P

Professionalism

ソフトフロント人としてのプロフェッショナリズムを
追求し、最高の品質を提供します

- ・真のニーズを読み取り、期待を超える価値を提供する
- ・企業人として自分の役割を認識し責任と品格を自覚する
- ・相手を尊重し、謙虚な姿勢で誠心誠意を尽くす

2. 事業内容

デモンストレーション

安価で高品質なテレビ会議を実現する
NGN（フレッツ光ライト／フレッツ光ネクスト＋ひかり電話）対応

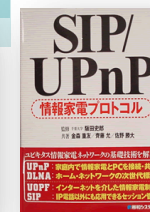
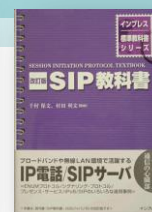
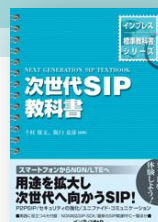
HelloMeeting Pro

「専用装置が不要」で「安価」な多地点会議を実現する
テレビ会議ソフトウェア

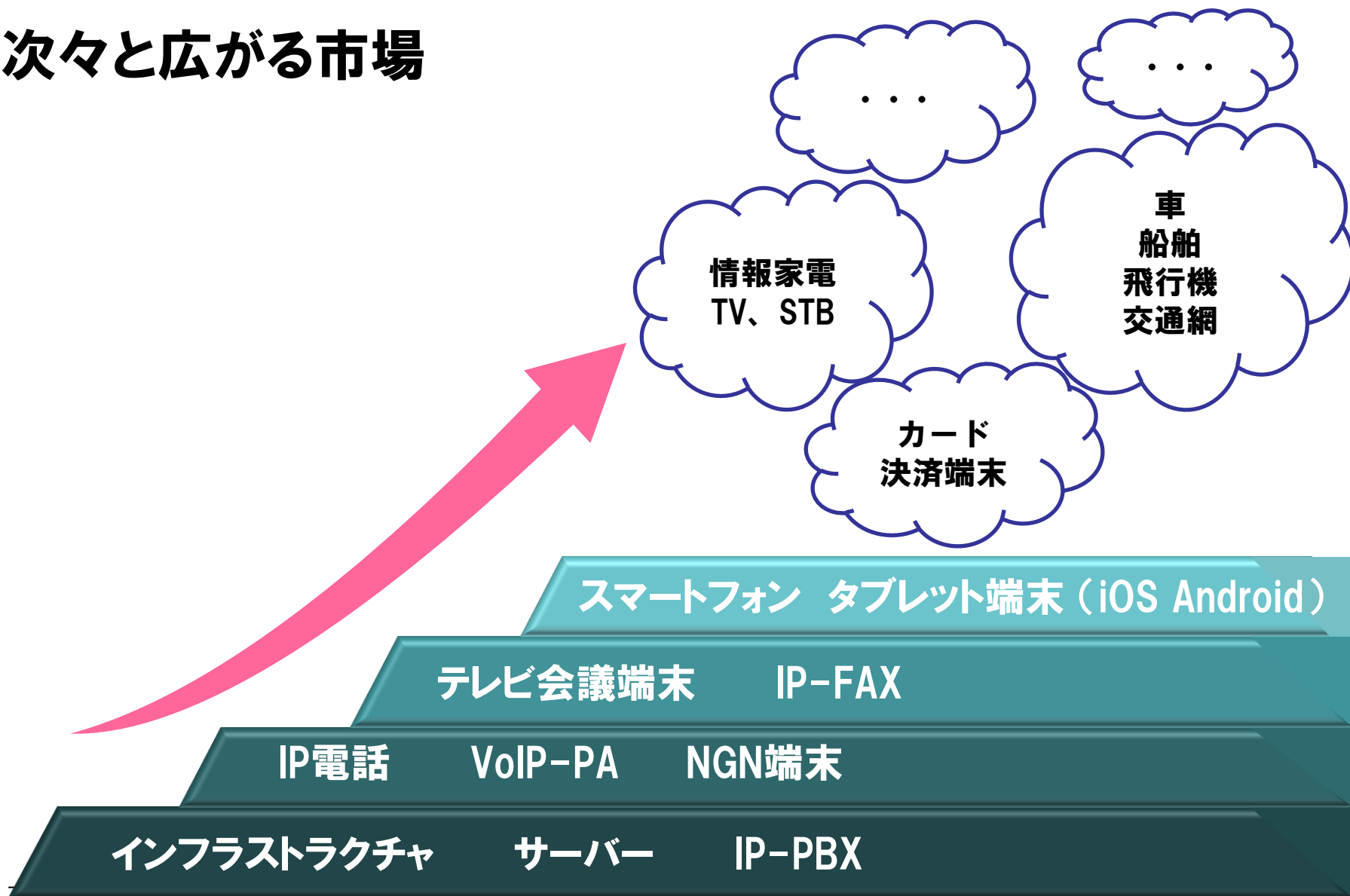


ソフトフロントの強み

- NTTグループとの業務資本提携関係
- 電話（テレコム）技術の複雑さ
→大きな参入障壁
- 国際的な標準化団体に加盟
- SIP技術への早期参入と
技術ノウハウ、実績



次々と広がる市場





主な取引先

電力系通信事業者等

通信事業者等



各種メーカー等

3. 中期経営方針

経営基本方針

- 当社のSIP技術をデファクトスタンダードにする
- ソフトウェアの**ライセンスビジネス**を成功させる

重点課題

➤ **基本方針「ライセンスビジネスの成功」に向けて、中期的に以下の課題に重点に取り組んでまいります。**

- **収益基盤拡大**

- ✓ 安定した収益を確保できる分野の創出、拡大
- ✓ ライセンスビジネスに重点をおいた事業展開

- **黒字体質の確保**

- ✓ 転換を果たした、黒字が確保できる柔軟な費用構造の維持進展

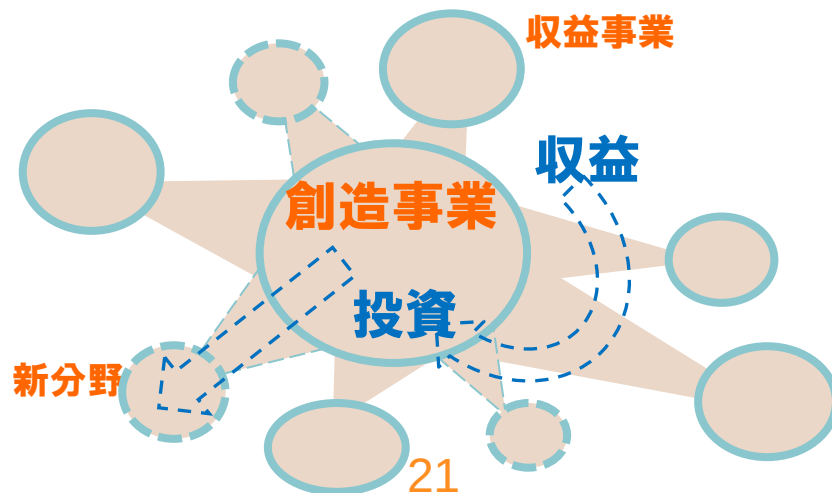
収益基盤拡大に向けて

➤ ソフトフロントの強み

- SIP技術を中心とした知名度と技術、営業のノウハウと人材力
- NTTグループとの業務資本提携関係



- SIPを中心とした先端技術に取り組む創造事業から、
「**収益性の高い分野**」、「**成長分野**」を収益事業分野として育てる
- 収益事業分野からの収益を創造事業に投資して、更なる収益事業分野を創出する



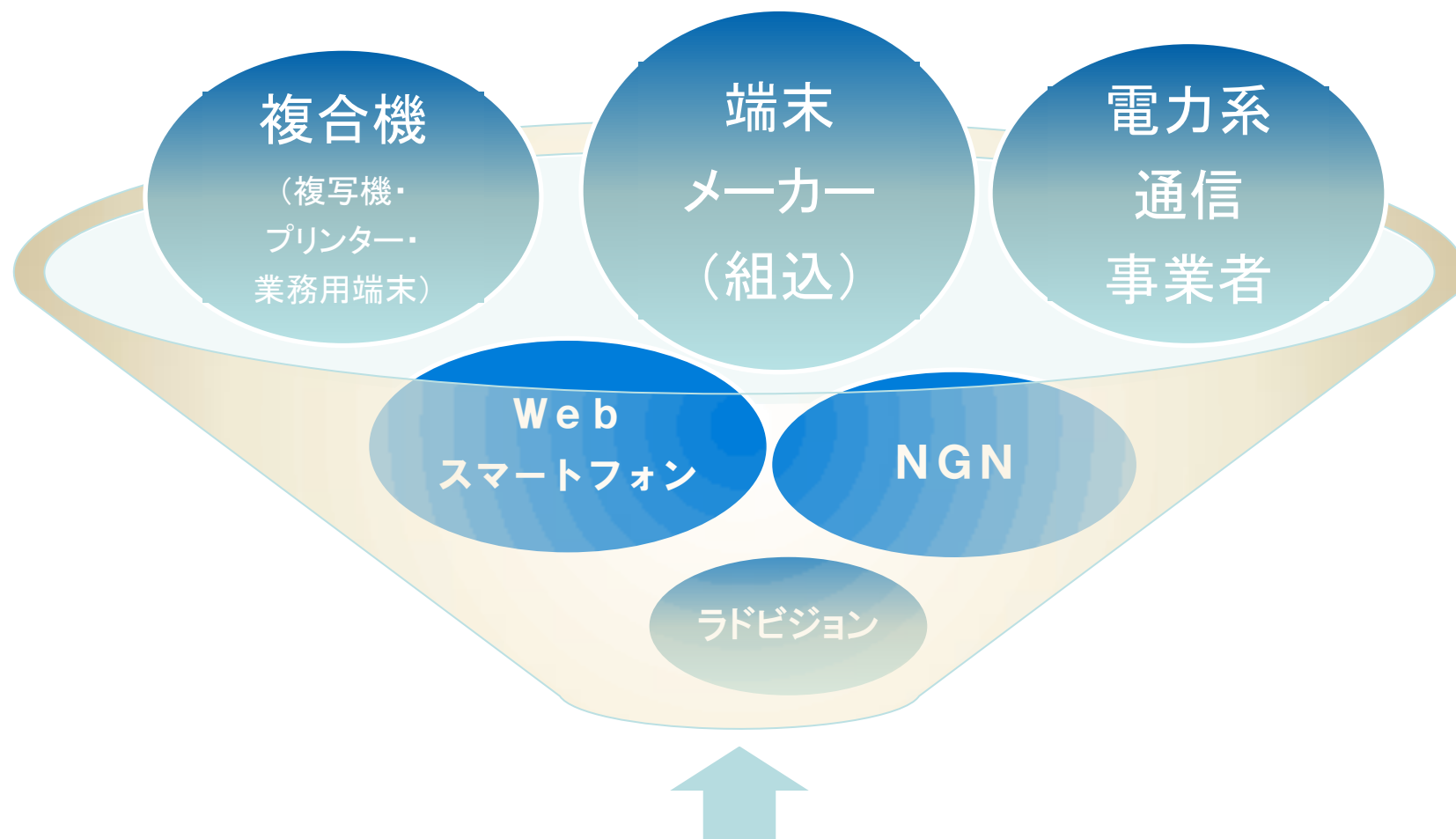
黒字体質の確保

➤ これまでの取り組みによって転換した柔軟な費用構造を、
維持進展させます

- ソフトウェア利益率の向上
- 外注加工費の流動化
- 業績連動給
- 固定費削減

4. 事業分野

ソフトフロントが進める各事業分野



S I P を中心とした先端技術

収益の根幹となる分野

端末メーカー (組込)

- ・優れた相互接続性
- ・各通信事業者への接続実績
- ・多様な分野での採用実績



複合機 (複写機・プリンター ・業務用端末)

- ・IP FAX通信規格の開発ノウハウ
- ・NGN網への接続実績



電力系 通信事業者

- ・長年の取引による技術ノウハウ
- ・システム構築実績



今後成長していく分野

NGN

- ・ NTTのフレッツ 光への接続ノウハウ
- ・ NTTグループとの協力関係



Web スマートフォン

- ・ 最先端のWEBテクノロジー
- ・ 基幹業務系システム開発、画像処理に強み



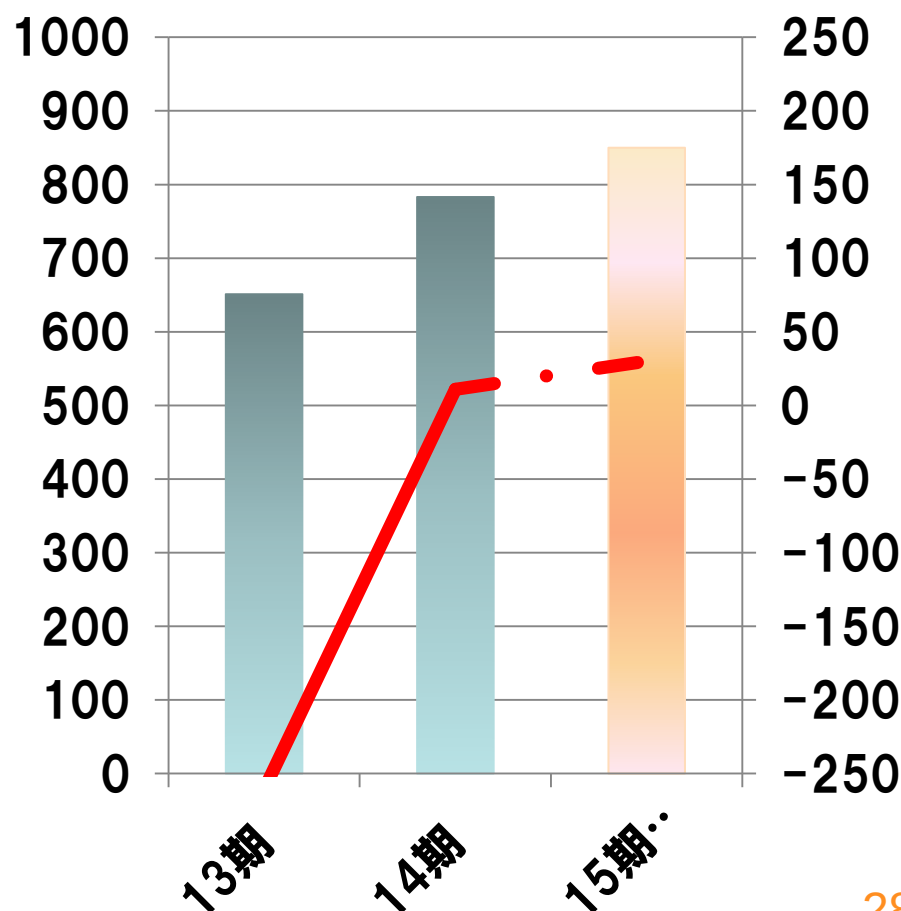
ラドビジョン



5. 業績概要

14期決算と15期見込み

(百万円) 売上高 経常利益 (百万円)



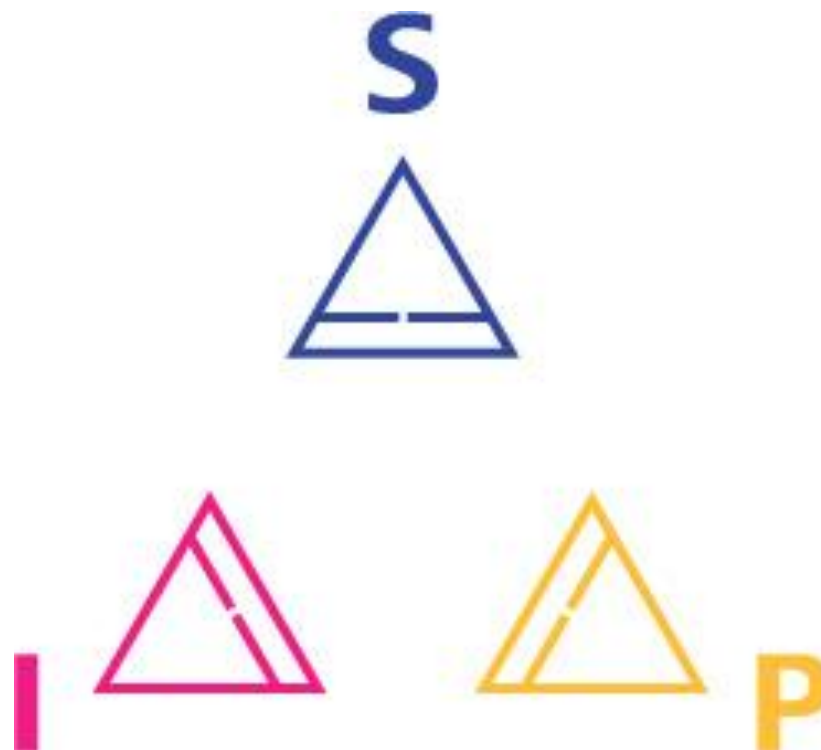
	13期	14期	15期
売上高	651	783	850
営業利益	-261	10	30
経常利益	-261	11	30
当期純利益	-291	8	27

株価の推移





SIP connects the future



ソフトフロントは SIP 技術を基に
社会変革の牽引役となり、豊かな社会を実現します